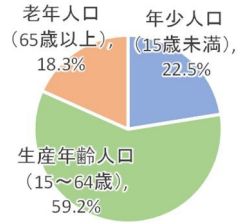


	世帯数	人 口	年齢別人口
現 在	496 世帯	1,301 人	15 歳未満 (年少人口) 298 人
			15~64 歳 (生産年齢人口) 786 人
			65 歳以上 (老年人口) 243 人
約 50 年前	157 世帯	714 人	



歴史等

地名の由来は、当地より下流は水田開発が遅れていたことによると言われています。古代律令制では播磨国神前郡川辺里、中世は田原荘に含まれたと考えられます。近世は豊臣氏の領地となった後、慶長5年(1600)からは姫路藩領となり、大庄屋組では、はじめは田中組、明暦2年(1656)から川辺組、元文2年(1737)からは辻川組に属しました。文化7年(1810)の田尻村明細帳によると、家数は46軒・人数は205人で、米作ほか畑作に木綿・大豆・小豆・粟・キビ・ソバ・ゴマ・芋などを栽培していました。北条街道に面し、宿屋が1軒ありました。明治9年(1876)に西田原村の一部となりました。

江戸時代中期の建立とされる熊野神社は、田原地区の郷社で、秋祭りでは屋台12台が集まり、浄舞などの神事が奉納されます。また、境内や社殿を取り囲む玉垣には、井上通泰や藤本節二(煙津)らの名前も見られます。境内社には塞神社、八雲神社などがあり、7月の塞神社の田祭りでは、神賑わいとして子どもたちの奉納相撲が行われます。



熊野神社



井上通泰奉納玉垣 (熊野神社)



天の岩戸図 (熊野神社)



秋祭り・屋台



地藏盆 (円乗寺)



道標 (地藏堂)

※現在の人口・世帯数・年齢別人口は令和4年5月末時点、10年間の人口・世帯数の推移は各年5月末時点、約50年前の人口・世帯数は昭和52年6月末時点であり、いずれも住民基本台帳による値です。なお、年齢別人口のみ外国人を含む値になっています。

歴史文化遺産一覧

分類	名称	年代	概要	歴史文化ものがたり						
				①	②	③	④	⑤	⑥	
建造物 石造物	1	地藏菩薩立像(円乗寺西墓地)	安永2年(1773)	地藏菩薩の石仏。台座正面には造立年月日とともに「念仏講中 十四人菩提也」と記されている。平成10年(1998)の公民館工事に伴い移動等。				●		
	2	地藏菩薩立像(円乗寺西墓地)	安永8年(1779)	地藏菩薩の石仏。正面には像容・造立年月とともに「念仏講中」と記されている。平成10年(1998)の公民館工事に伴い移動等。				●		
	3	三界万霊塔(円乗寺西墓地)	寛政9年(1797)	正面には像容と造立年月日とともに「三界万霊」と記されている。平成10年(1998)の公民館工事に伴い移動等。				●		
	4	石鳥居(熊野神社)	明治35年(1902)	石鳥居。右柱正面には造立年月、背面には氏子惣代等の名、左柱正面には願主、背面には石師・石工が記されている。				●		
	5	石灯籠(熊野神社)	明治35年(1902)	左右一対の石灯籠。左右ともに正面に「献灯」、背面に造立年月が記され、基礎の正面に「氏子」と記されている。				●		
	6	石灯籠(熊野神社)	明治36年(1903)	左右一対の石灯籠。左右ともに正面に「奉灯」、背面に造立年月が記され、基礎の正面に「田尻組中」と記されている。				●		
	7	手水石(熊野神社)	寛政5年(1793)	手水石。正面に「盥漱」、背面に造立年月が記されている。				●		
	8	狛犬(熊野神社)	明治35年(1902)	石造狛犬。				●		
	9	狛犬(塞神社)	昭和4年(1929)	熊野神社の境内社塞神社の石造狛犬。ハリガネで固定。				●		
	10	玉垣(熊野神社)	不明	玉垣。「田原村 藤本節二」と記されている。	●			●		
	11	玉垣(熊野神社)	不明	玉垣。「県立姫路病院在勤 井上通泰」と記されている。	●			●		
	12	玉垣(熊野神社)	不明	玉垣。「東京 井上通泰」と記されている。	●			●		
	13	玉垣(熊野神社)	不明	玉垣。「株式会社 田原銀行」と記されている。		●		●		
	14	井筒(熊野神社)	明治28年(1895)	井筒。正面に献納者・周施方等が記されている。				●		
	15	忠魂碑(熊野神社)	昭和3年(1928)	正面には「忠魂碑 陸軍大将一戸兵衛書」と記されている。						●
	16	雲津川改修記念碑	昭和4年(1929)	雲津川の改修を記念して建てられた石碑。正面には「御大典記念 雲津川改修記念碑」と記されている。		●				

※歴史文化ものがたり：①学問・芸術文化のふるさと、②郷土の暮らし、③ため池・疎水と生業、④祭りと信仰、⑤人・物・情報の十字路口、⑥播磨のなかのふくさき

分類	名称	年代	概要	歴史文化ものがたり						
				①	②	③	④	⑤	⑥	
建造物 石造物	17	玉垣建設碑(熊野神社)	昭和3年か(1928)	玉垣建設を記念して建てられた石碑。				●		
	18	道標(円乗寺西墓地)	不明	生野街道(但馬道)の道標。正面には弘法大師の像容とともに「右 姫路 左 北条」と記されている。平成10年(1998)の公民館工事に伴い移動。				●	●	
	19	道標(円乗寺西墓地)	不明	道標。正面には地藏菩薩の像容とともに「右 たじま 左 村道」と記されている。平成10年(1998)の公民館工事に伴い移動。				●	●	
	20	道標(地藏堂)	不明	道標。正面には地藏菩薩の像容とともに「右 もん志ゆ 左 たしま」と記されている。				●	●	
	21	道標(田尻路傍移設)	不明	道標。正面には地藏菩薩の像容とともに「右 ひめじ 左 ほうじよ」と記されている。				●	●	
	22	雲津橋石標	明治11年(1878)	石標。正面には「雲津橋」、右に藤本節二書の造立年月、左に周旋方、背面には寄付者の人名が記されている。	●	●			●	
	23	石標(田尻路傍)	昭和4年(1929)	石標。正面に「郷社熊野神社」、右に造立年月、左に3名の人名が記されている。				●		
	24	雨水受(熊野神社)	大正15年(1926)	雨水受。社殿表の左右一対、社殿裏の左右一対の計4基。				●		
	25	富士嵐之墓(円乗寺北墓地)	文政12年(1829)	力士墓碑。正面には「富士嵐之墓」と記されている。平成10年(1998)の公民館工事に伴い移動等。				●		
	26	力士墓碑(円乗寺北墓地)	明治10年(1877)	力士墓碑。正面には梵字と「一念染邦信士」の文字が記されている。平成10年(1998)の公民館工事に伴い移動等。				●		
27	竹本永玉碑(円乗寺北墓地)	大正10年(1921)	義太夫師匠墓碑。正面には「竹本永玉碑」と記されている。平成10年(1998)の公民館工事に伴い移動等。	●			●			
美術工芸品 絵画	28	富士裾野巻狩図(熊野神社)	明治27年(1894)	画家は「古田探溪斎」、奉納者は「恵美須講社中」とある。周旋人として29名の名がある。145×210 cm。	●			●		
	29	題材不明図(熊野神社)	明治27年(1894)	奉納者は「田尻村戌年ノ男」とある。剥落しており、題材は不明。47×37 cm。	●			●		
	30	神功皇后と武内宿禰図(熊野神社)	明治28年(1895)	奉納者は「願主 午ノ歳女」とある。107.5×138.5 cm。	●			●		
	31	賤ヶ岳七本槍図(熊野神社)	明治36年(1903)	奉納者は不明。150.5×287 cmの大絵馬。	●			●		

※歴史文化ものがたり：①学問・芸術文化のふるさと、②郷土の暮らし、③ため池・疎水と生業、④祭りと信仰、⑤人・物・情報の十字路口、⑥播磨のなかのふくさき

分類	名称	年代	概要	歴史文化ものがたり							
				①	②	③	④	⑤	⑥		
美術工芸品	絵画	32	義経弓流し図(熊野神社)	明治39年(1906)	奉納者は「願主 北海道丑年男」とある。66.5×79.5 cm。	●			●		
		33	天の岩戸図(熊野神社)	明治43年(1910)	奉納者は「氏子八反田戌年男」とある。85.5×120.5 cm。	●			●		
		34	俳諧額(熊野神社)	大正4年(1915)	奉納者は不明。総数7千余青山堂興行。135.5×189 cm。	●			●		
		35	十二支図(猿)(熊野神社)	不明	奉納者は「申年男」とある。15.5×22 cmの小絵馬。	●			●		
		36	男拝み絵図(熊野神社)	不明	奉納者は「大願成就成年42才男」とある。25.5×35.5 cm。	●			●		
		37	羽子板絵馬(熊野神社)	不明	奉納者は不明。計9枚。	●			●		
		38	破魔弓絵馬(熊野神社)	不明	奉納者は不明。計4枚。	●			●		
	書跡・典籍・古文書・歴史資料	39	上井文書	—	80件、242点。所蔵者は(仮称)上井郷組(※田尻と辻川が交替で保管。正式な名称なし。)		●				
		40	田尻区有文書	—	43件、44点。		●				
	有形の民俗文化財	祭具	41	屋台(田尻区)	—	布団屋根型屋台。平成26年(2014)に屋台を新調。水引や千本垂木を鍔金具で装備し、漆塗や狭間の彫刻などが完成し、きらびやかな中にも格調高い雄姿を見せる。令和元年9月に太鼓を新調。				●	●
42			力石(熊野神社)	不明	5個。76×34×32 cm(玉垣外)、60×30×30 cm、53×35×36 cm、39×31×15 cm、31×35×16 cm(約半分欠損)。いずれも切付無し。				●		
43		力石(円乗寺)	不明	2個。49×38×34 cm(30貫)、51×31×25 cm(15貫)。いずれも切付無し。				●			
無形の民俗文化財	年中行事・民俗芸能	44	浄舞(熊野神社)	—	鼻高の面をつけた赤天狗が祭礼に登場し渡御の道筋や齋場を祓い清める役目をする。熊野神社に浄舞の舞台が組まれて舞った後、御旅所となっている岩尾神社まで神輿渡御の先導役を務め、岩尾神社で2度目の舞を舞う。再び熊野神社へ戻り、各地区の屋台が宮入した後、3度目の舞いが舞われる。熊野神社浄舞保存会が結成され、保存継承に尽力されている。 【町指定無形民俗文化財】				●	●	

※歴史文化ものがたり：①学問・芸術文化のふるさと、②郷土の暮らし、③ため池・疎水と生業、④祭りと信仰、⑤人・物・情報の十字路口、⑥播磨のなかのふくさき

田 尻

分類	名称	年代	概要	歴史文化ものがたり												
				①	②	③	④	⑤	⑥							
無形の民俗文化財	年中行事・民俗芸能	45	秋祭り（田原）	—	田原地区の屋台 12 台（布団屋根型 10 台、神輿屋根型 2 台）・神輿 1 台が熊野神社に集まる。本宮では、各屋台が鳥居をくぐった後に拝殿前で差し上げを行い、境内を回った後、拝殿の裏を回り定位置に据えられる。屋台の宮入りが終わると境内中央の舞台で浄舞、浦安の舞が奉納される。									●	●	●
		46	トンド	—	1 月 14 日に落ヶ池北畔で行われる。									●		
		47	田祭り	—	7 月に熊野神社境内社の塞神社で行われる。神賑わいとして子どもたちの奉納相撲を献上する。									●	●	
		48	夏まつり	—	8 月 18 日に熊野神社で行われる。かつては「盆祭り」と称したが、令和元年より「夏まつり」に名称を変更した。										●	
		49	地藏祭	—	8 月に円乗寺で行われる。									●		
		50	斎灯	—	節分の日に熊野神社境内で行われる。									●		
遺跡	散布地・集落跡・生産遺跡等	51	西田原下野田遺跡	中世	中世の集落跡。							●				
		52	田尻宮ノ西遺跡	中世	中世の集落跡。							●				
		53	田尻宮ノ前遺跡	中世	中世の集落跡。							●				
		54	西田原上野田遺跡	弥生時代～中世	弥生時代末から古墳時代初頭の旧河道や土坑の遺構、同時期のものと思われる柵跡が確認されている。小規模な集落であり、断続的に中世後半まで生活が続けられてきた遺跡である。									●		
		55	西田原前田遺跡	古代～中世	段丘面に広がる遺跡で古代から中世にかけての遺物が採集されている。遺物は出土するものの明確な遺構は確認されていない。									●		
		56	西田原辻ノ前遺跡	7 世紀後半～中世	ピット（小さな穴）が確認され、7 世紀後半から中世の須恵器などが出土している。									●		
古道・街道等	57	生野鉦山寮馬車道	明治 9 年（1876）	生野鉦山（朝来市）と飾磨津（姫路市）を結ぶ全長 49 km の馬車道。鉦山物資等を運ぶための産業道路として、明治 6 年（1873）に計画し、明治 9 年（1876）に完成した。当時の道路構造を保つところは少ないが、現在も道路として使用され、当時の道筋を知ることができる。											●	●

※歴史文化ものがたり：①学問・芸術文化のふるさと、②郷土の暮らし、③ため池・疎水と生業、④祭りと信仰、⑤人・物・情報の十字路口、⑥播磨のなかのふくさき

分類	名称	年代	概要	歴史文化ものがたり											
				①	②	③	④	⑤	⑥						
遺跡	古道・街道等	58	生野街道（但馬道）	—	姫路から但馬へ通じる南北道。道標には「但馬道」と記されているものが多く確認されるため、江戸時代には「但馬道」と呼ばれていたことが分かる。								●		
		59	北条街道	—	三木から宍粟に通じる因幡街道の道筋上にあたる東西の主要街道。絵図や柳田國男の『故郷七十年』などから当時の様子を知ることができる。									●	
	その他の遺跡	60	巖橋跡	—	巖橋は柳田國男の「辻川のみち」にてでくる。平成 11 年（2009）に架けかえられ、石橋は辻川山公園に移設された。									●	
名勝地	河川	61	雲津川	—	東雲津橋の西約 70mの所に「雲津川改修記念碑」がある。大正 7 年（1918）から改修費用を積み立て、昭和 3 年（1928）の天皇即位に伴う記念事業として県費補助を受け、昭和 4 年（1929）3 月に竣工したという。その後も昭和 45 年度や平成 6～12 年度頃に部分改修が行われ、平成 11 年（2009）には雲津川に架かる巖橋が辻川山に移設・保存された。						●				
動物・植物・地質鉱物	植物	62	熊野神社の森	—	熊野神社の社叢。 【町指定保存樹】						●		●		
その他	信仰の場	63	熊野神社	—	田原地区の郷社。秋祭りでは、田原地区の屋台 12 台が揃い、浄舞が奉納される。								●		
		64	塞神社	—	熊野神社の境内社。田尻区の氏神で、元々は、どん底付近（神社西側の道を南へ真っすぐ下ったところ）に祀られていた。田尻区内の各隣保が輪番制で、毎月神社の掃除を行っている。								●		
		65	八雲神社	—	熊野神社の境内社。大国主命を祀る神社。								●		

※歴史文化ものがたり：①学問・芸術文化のふるさと、②郷土の暮らし、③ため池・疎水と生業、④祭りと信仰、⑤人・物・情報の十字路口、⑥播磨のなかのふくさき

- ・熊野神社の宮元として、境内の清掃管理（年4回）などを実施しています。また、境内社の塞神社は、田尻区内の各隣保が輪番制で毎月清掃を行っています。
- ・田尻区祭り保存会を組織し、祭り屋台の保存、継承並びに後継者の育成に向けた取組を実施しています。
- ・浄舞保存会と田尻区青年団が中心となり、秋祭りに熊野神社と岩尾神社で奉納する浄舞を継承しています。



浄舞